

第123回放送番組審議委員会議事録

1 開催日時 令和7年3月

2 開催方法 書面による審議

3 出席委員 委員総数5名 出席：桑原功委員、小原俊次委員、伊東衣代委員

4 議題 番組「グッドエイジ」の審議

5 議事概要

番組試聴 「グッドエイジ」（土曜8:30～9:00）

番組内容 週替わりパーソナリティが様々なゲストを招き、ネオシニア世代に向け、ビジネス、終活、ライフスタイル等、為になる情報を紹介するトーク番組。

6 審議内容

- ・学校の道徳の授業のようであった。道徳の授業の大切さを実感した。大変良い番組だと思う。
- ・私のような凡人には理解をするのが難しかった。
- ・属世界に居ると流されてしまい、禅の話は頭の中では理解できても実行は中々できないと感じた
- ・嫌な事の記憶が無くなり、良い事の記憶が多くなってゆく。指導者から気が付かして頂く。生き方を理解する。宗教の良い部分であり恐ろしい部分だと感じた。
- ・自分作り、不動心、生き方、とらえ方、いい話でした。
- ・禅はハードルが高いが、やさしく学べる役立つ教養番組があったら良いと思う（例えばインバウンド向け外国語入門講座とか）
- ・「大変な後に喜びが来る」肝に銘じて生きて行こうと思った。
- ・禅の世界に居る方でも、人の気持ちと言いつつ不都合な事の体験談が、人間らしく親しみを感じた
- ・ラジオ放送等で人生のお話は勉強になるので、どの宗教のお話でも良いので、シリーズ化し、世界の沢山の宗教の根っこを放送しリスナーに届けて頂ければありがたい。

7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及び年月日

- ・教養番組について今後の新番組制作の参考にさせて頂く。

8 審議機関の答申又は意見の概要公表

- ・当局番組で放送（令和7年4月7日 8時14分～「大江戸ワイドスーパーモーニング」）
- ・自社ホームページにて公表（令和7年4月8日）／議事録を当局スタジオに備置き